



2011/08/01

## TWS shibuya

トーキョーワンダーサイト10周年

# NEXT-TWS 10年!

NEXT-TWS 10 YEARS!

2011/7/7 木 - 10/2 日 トーキョーワンダーサイト渋谷

### 参加アーティスト

DIG & BURY | DIG & BURY

雨宮庸介 | Yosuke Amemiya

荒木悠 | Yu Araki

岩井優 | Masaru Iwai

遠藤一郎 | Ichiro Endo

オル太 | OLTA

栗林隆 | Takashi Kuribayashi

桑久保徹 | Toru Kuwakubo

田村友一郎 | Yuichiro Tamura

つむぎね | Tsumugine

トマツタカヒロ | Takahiro Tomatsu

鳥は卵の中から抜け出ようと戦う | The bird fights its way out of the egg

永岡大輔 | Daisuke Nagaoka

松本力 | Chikara Matsumoto

他



遠藤一郎 | Ichiro Endo  
《にげねえ》(「NEXT-TWS 10年!」オープニング・パフォーマンス)



## 企画概要

トーキョーワンダーサイト (TWS) は今年で10周年を迎えます。2001年の開館以来、2000を超えるアーティストたちがプログラムに参加し、400名を超えるクリエイターたちがTWS青山のレジデンスに滞在し、東京を舞台にリサーチや制作を行いました。この節目にあたって私たちがこれまでの10年と、これからの10年を考えていた矢先、東日本を未曾有の大災害が襲いました。私たちは、深い悲しみとともに人間の存在、社会のあり方そのものへの大きな問いを投げかけられています。その問いは、バブル崩壊後の失われた10年に、東京そして日本に欠けていた創造支援活動を始めて以来、TWSがアーティストとともに取り組んできた様々な課題と重なっています。アート、社会、日本のあり方、世界との係わりについて、国内外の多くのアーティストたちとこれまで積み重ねてきた対話を広げ、これからの10年をみんなで考えてゆきたいと思っています。

トーキョーワンダーサイト館長 今村有策

## 展覧会内容

企画段階から対話を重ねた各アーティストが、それぞれの「今」を表現する「NEXT-TWS 10年!」。若手作家約20組を中心に、リレー形式でプロジェクトを展開していきます。日々変化する会場で起こる、新しいアートの動きにご注目ください。

また会場では、これまでTWSの事業で一緒に活動した国内外の方々から寄せられた「これからの10年」に対するメッセージを掲示しています。展示やイベント、パフォーマンスと合わせて、こちらをご覧ください。

## 開催概要

■会期	2011年7月7日(木)～10月2日(日)
■会場	トーキョーワンダーサイト渋谷
■開館時間	11:00～19:00(最終入場は30分前まで)
■休館日	月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
■入場料	無料

■イベント(予定)	8月12日(金) 16:00～DIG&BURY パフォーマンス「脇山広介のドラムマラソン Vol. 1 ～Dig & Buryドラムを習う」
	8月19日(金) 19:30～トマツタカヒロ「其一夜 格闘的肉態と音、そのことば。」(ゲスト:格闘家)
	8月20日(土) 19:00～トマツタカヒロ「其二夜 開沼博著<フクシマ>論と原民喜「夏の花」の格闘的肉態による朗読。」 (ゲスト:開沼博、佐伯誠)
	8月28日(日) 雨宮庸介の呼びかけによるイベント(出演:青山悟・梅田哲也・OJUN・千葉正也・沢山遼・雨宮庸介ほか)
	9月 1日(木)～15日(木) 永岡大輔・松本力 公開制作
	9月 2日(金) 鳥は卵の中から抜け出ようと戦う パフォーマンス「暑いけど気分は最高、あなたにベッ」
	9月16日(金)～10月2日(日) 桑久保徹 公開制作
	9月16日(金) つむぎね パフォーマンス
	10月2日(日) 栗林隆 パフォーマンス
	*イベント・スケジュール及びプログラムは、やむを得ず変更になる場合がございます。予めご了承ください。詳細や追加情報はトーキョーワンダーサイトのウェブサイト及びツイッター、フェイスブックでお知らせします。

■主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
-----	------------------------------



## 会場案内

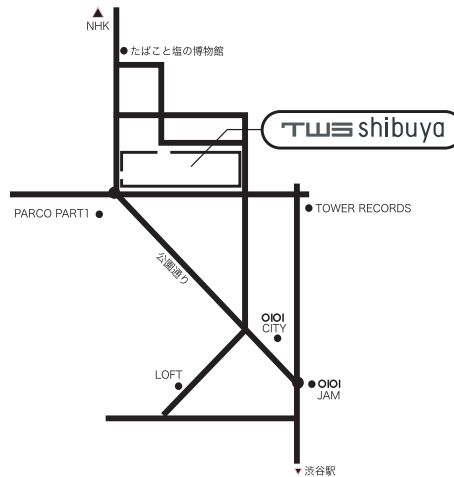
トーキョーワンダーサイト渋谷

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8

TEL: 03-3463-0603

FAX: 03-3463-0605

■交通案内: 渋谷駅 (JR山手・埼京線・湘南新宿ライン / 東急東横・田園都市線 / 京王井の頭線 / 東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線) より徒歩8分  
駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮下さい。



## お知らせ

トーキョーワンダーサイト (TWS) では、ツイッター、フェイスブックを開設しました。  
「NEXT-TWS 10年!」のほか、TWS3館のプログラムやイベント情報を、よりタイムリーにお知らせします。

Tokyo Wonder Site (TWS) Official Twitter and Facebook now open.  
We will update the information on "NEXT-TWS 10 YEARS!" and other programs at three TWS venues.



@TokyoWonderSite (日本語)

@TWS\_EN (ENGLISH)



Tokyo Wonder Site (日本語)

Tokyo Wonder Site EN (ENGLISH)

Facebook



## 参加アーティスト紹介

## DIG &amp; BURY | DIG &amp; BURY

寺澤伸彦、オダユウジによるユニット。  
二人の出身地の相違から派生する経験や思考の衝突を基に、世界に対して様々な問いかけを行う。トーキョーワンダーサイトでは、2008年「展覧会企画公募」(TWS本郷)にて《DIG&BURYのオダユウジ》を発表したほか、2010年「0コレクションによる空想美術館 第9室・第10室 アートバトルロワイヤル-オルタナティブなアートの地平を求めて-」(TWS本郷)、「TWS-Emerging 2010」(TWS本郷)などに参加。

## 雨宮庸介 | Yosuke Amemiya

1975年、茨城県生まれ。1999年、多摩美術大学美術学部油絵専攻卒業。主な個展に、「TEAM13 雨宮庸介・ムチウチニューロン」(TWS渋谷、2008)、「Translator's High」(Yuka Sasahara Gallery、2006)、また近年のグループ展に、「六本木クロッシング2010展:芸術は可能か?」(森美術館、2010)、「日常/場違い」(神奈川県民ホールギャラリー、2009-10)、「TWIST and SHOUT -Contemporary Art from Japan-」(バンコク芸術文化センター、バンコク、2009)など。

## 荒木悠 | Yu Araki

1985年生まれ。2007年ワシントン大学美術学部彫刻専攻卒業。卒業制作ではE.マイブリッジに言及した、ネット上の馬の静止画像を繋いだアニメーション《971 Horses + 4 Zebras》を発表。同作品で奥村雄樹氏企画「万物理論」(ナポリ、ダブリン巡回)に参加、また第56回オーバーハウゼン国際短編映画祭をはじめ他多数の映画祭等で上映される。2010年東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了。「自己とカメラの関係性」をテーマに制作を行う。在学中に発表した《Deep Search》では、作家自身の身体にカメラを導入させ、自らが飲み込んだ小さなフィギュアを取り出すまでの過程を撮影し作品化した。現在、TWS青山:クリエイター・イン・レジデンスにて国内クリエイター制作交流プログラムに参加中。

## 岩井優 | Masaru Iwai

1975年京都生まれ。2009年東京藝術大学美術研究科後期博士課程修了。博士(美術)。岩井は

これまで「クリーナーズ・ハイ」というテーマで、清掃/ごみを作品制作に持ち込んでいる。インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多岐に渡る表現媒体を用いて、私たちの暮らしにある清潔への欲望を、矛先をずらしながら示し、循環的な営みを問い直している。主な個展に「Clean up 1. 2. 3.」(Art Center Ongoing、東京、2009)、「Cleaner's high #1」(Otto mainzheim Gallery、東京、2008)。主なグループ展に「Re:membering - Next of Japan」(Alternative space LOOP、韓国、2009)、「Double Cast」(トーキョーワンダーサイト本郷、東京、2007)など。

## 遠藤一郎 | Ichiro Endo

未来美術家。  
静岡県生まれ。車体に大きく「未来へ」と描かれ、各地で出会った人々がそのまわりに夢を書いていく『未来へ号』で車上生活をしながら全国各地を走り、「GO FOR FUTURE」のメッセージを発信し続ける。主な活動に各地アートイベントでの展示やパフォーマンス、デザイナー(多摩川カジュアル、DJ)。2009年より胤あげプロジェクト「未来龍大空凧」開始。2010年より柏にてオープンスペース island の発足に携わる。

## オル太 | OLTA

2009年3月結成。80年代生まれの11人からなるアーティスト集団。全員、多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻出身。祭り、相撲、田んぼ、幼少期に触れた田舎から、ファミコン、漫画、J-POPまで、日本で接することが出来る文化や、風土に染み付いた感性と記憶よりインスピレーションを得て作品を制作する。絵画、彫刻、映像、音楽など多数のメディアをバワフルに組み込み、多角的なアプローチによる集団的表現を展開。様々な地域性や時代性が混ざり合った巨大インスタレーション、社会との接続を試みるプロジェクトで、古来より人々が行ってきた創造活動の根源的な力を現代へ蘇らせる。誰も知らないアートの可能性があなたのジャパニーズDNAを刺激する。

オル太メンバー: Jang-Chi、長谷川義朗、川村和秀、梅田豪介、斉藤隆文、井上徹、今井達也、高木真希人、前川瞳美、大和武司、メグ忍者

## 栗林隆 | Takashi Kuribayashi

1968年、長崎県生まれ。1993年、武蔵野美術大学卒業後、ドイツ・カッセル総合大学フリーアート科入学。その後、ドイツ・デュッセルドルフ・クンストアカデミーに編入し、マイスター・シューラー、アカデミープリーフを取得。2003年ケルン市立美術館・アートテーク(ドイツ)

にて個展開催、2006年シンガポールビエンナーレに出品。2008年にオープンした十和田市現代美術館には、インスタレーション作品が常設作品として展示されている。近年のグループ展に「ネイチャーセンス展」(森美術館、2010)、「シンガポールヤタイトリップ2011」(シンガポール、2011)、「ネパールヤタイトリップ2011」(ネパール、2011)。トーキョーワンダーサイトでは、「Out of the Blue」(2003)、「アートの課題: What game shall we play today?」(2008)、「Tokyo Story」(2010)に参加している。

## 桑久保徹 | Toru Kuwakubo

1978年神奈川県生まれ。多摩美術大学絵画科油画専攻卒業後、神奈川を拠点に制作を行う。2003年にトーキョーワンダーウォールに入選後、トーキョーワンダーサイトでの「TWS-Emerging 038 うみべたの画家」(TWS本郷、2003)を経て、「GEISAI #5」(2004)に出展。その後も「フロム・スクラッチ」(TWS渋谷、2005)、「SCENERY OF TOMORROW」(ペンディックセン・コンテンポラリー・アート、コペンハーゲン、2007)、「ポートレート・セッション」(広島市現代美術館、2007)、「アーティスト・ファイル2010」(国立新美術館、2010)、「Out of Noise」(ギャラリー・ヒュンダイ、ソウル、2010)など、国内外の個展、グループ展に数多く参加している。

## 田村友一郎 | Yuichiro Tamura

1977年富山県生まれ。2003年、日本大学芸術学部写真学科卒業。2006年、写真作品《IN PORTRAITS》にて Esquire Digital Photo Award 2006審査員特別賞受賞。2007年には東京八丁堀に Otto Mainzheim Gallery を設立。2008年、写真作品《オイディプス王》を THERME GALLERY にて発表。主な参加展示に「Pèlerinage + prière」(Gallery LU/フランス、ナント)「佐藤雅彦ディレクション"これも自分と認めざるをえない"展」(21\_21 DESIGN SIGHT/東京、2010年)。2011年、Google Street View のイメージだけで作ったロードムービー「NIGHTLESS」にて第14回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞、恵比寿映像祭、オーバーハウゼン国際短編映画祭(ドイツ)、WRO 国際メディアアートビエンナーレ2011(ポーランド)、フランス大使館、TWS渋谷、ほかにて展示上映。2010年東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了、現在博士後期課程に在籍。近作に、1年を通してTWS青山:クリエイター・イン・レジデンスにて発表した「部屋」における視覚を扱ったパフォーマンス「WUNDER KAMMER」シリーズがある。

**つむぎね | Tsumugine**

2008年から宮内康乃を中心に発足した音楽パフォーマンスグループ。声や、身近で魅力的な音の出るさまざまなものを使って、あらかじめ決められたタイムラインを再現するのではなく、個々が音の一つの粒子となり、その粒子が身体を持つ自然なリズムに基づいた単純なルールに沿って、それぞれ音を発しながら移動し、ぶつかり合い、変化、融合することによって空間上の響きを紡ぎ出していくパフォーマンスを展開する。2008年度トーキョーワンダーサイト主催「TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL -SOUND, ART & PERFORMANCE」にて最優秀賞受賞。

**トマツタカヒロ | Takahiro Tomatsu**

長年メンタルクリニックデイケアでARTと運動プログラム講師を勤めながら、打撃格闘技の修行をして試合も数々。「John Zorn's Cobra 東京作戦/賃貸人格部隊」(2003)、「横浜トリエンナーレ2005」、「GEISAI #9」(2006)招聘出品。トーキョーワンダーサイトでは、2010年「TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL -SOUND, ART & PERFORMANCE」特別賞受賞、一柳慧とInternational Ensemble Modernによる実験プログラムへの参加など、独自の活動展開中。

**鳥は卵の中から抜け出ようと戦う |**

The bird fights its way out of the egg

アーティストグループ。メンバーは各々が美術や音楽などの表現活動を行うもの達で構成されている。主な公演に「なぜ誰も青くて奇妙なキングコングに触れようとしなのだろうか」(3331 Arts Chiyoda, 2010)、「準備された世界を撃て」(TWS本郷, 2009)、「鳥は卵の中から抜け出ようと戦う」(多摩美術大学オープンキャンパス, 2008)など。

**永岡大輔 | Daisuke Nagaoka**

1973年、山形県生まれ。東京都在住。2003年、ウィンプルドン・スクール・オブ・アートにて修士課程修了。帰国後は、トーキョーワンダーサイトでの個展を始め、国内外の展覧会で作品を発表。近年では、「Festival Internacional de Arte Contemporáneo en Barcelona 2010」(バルセロナ, 2010)にも参加。ドローイングという手法の延長として、映像、立体、ミクストメディア作品も制作、新しいドローイングの表現を追求している。

**松本力 | Chikara Matsumoto**

絵かき/映像(アニメーション)作家。1967年、東京生まれ、在住。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン専攻卒業。一コマずつのドローイングと透過光を加えたビデオ撮影のアニメーションの制作で、絵による映像表現を目指している。異ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多く、演劇、ダンス公演での上映や、特に音楽家「オルガノラウンジ」[VOQ]のライブに参加し、映像と音楽の音像空間表現を行う。映像作品の国内外での展示や、手製映像装置鞆『絵巻物マシーン』シリーズを用いたワークショップを商店街や病院、学校などで子どもたちと積極的に実施している。「イメージの手ざわり展」(横浜市民ギャラリーあざみ野, 2011)、「第3回 恵比寿映像祭 デイドリームビリーバー!!」(東京都写真美術館, 2011)、映像作品上映会「MOVING」(京都シネマ, 2011)等に参加。

展示風景



エントランス | Entrance 奥：寺澤伸彦 | Back: Nobuhiko Terasawa  
《いつまでも未完なこの世界で考えたこと》2011



TWS 関係クリエイターからのメッセージ | Messages from TWS Related Creators



オル太 | OLTA  
《羊の心臓》2011



永岡大輔・松本力 | Daisuke Nagaoka, Chikara Matsumoto



STUDIO NEXT-10! 奥：遠藤一郎 | Back: Ichiro Endo



7月7日七夕のオープンに合わせて来訪者の願い事を展示 |  
Visitor's wishes dedicated to the Star Festival on July 7 (opening day)